神さまの怨結び 5

❖かみさまのえんむすび

守月史貴

Champion RED Comics

くちなわ
蛇

■怨結びの呪いを授ける女神。子供から大人へと姿を変えることができ、甘いものが好き。己に施された封印のため人の心の機微の多くを知らないが、時折、己の中に何かを感じ、そのことに戸惑いを覚えることも。封印を解くため呪いを授けており、それが解けた時、これまでの呪いの悲劇を元に戻せるらしいのだが……。

たとえ代償がHでも呪いを望む少女は尽きず……。

怨結びの呪いとは??

対象者と交わり怨を結び、その者を消滅させる呪い。代償は交わりとされているが、真の代償は行使した者も世の縁から外れることで、外れ方は人により様々。稀に呪いを使わずに蛇に返す「呪い返し」という現象が起こり、その時、蛇は吐血するほどの厄を受ける。

願いが叶ったって 結局誰も救われねえ……

クビツリ

■蛇の神社で首つり自殺をして以来、少女を蛇の元へ導く役を担うことに。実は今も死んでいる状態で、とある事件で左腕を失った。蛇と呪いを悪だと断じつつも、被害者を救うため、今も蛇の使いを果たしているが……。

怨結びに関わってしまった人間たち

安登 囃（あとう はやし）

■日向の恋人。日向が他界してからも彼女のことを忘れられずにいたところ、黄泉帰りのことを知り……。

宇良上日向（うらうえ ひなた）

■容姿端麗、成績優秀。恋人の囃との逢瀬の後、事故で他界。だが妹、月乃の体に魂が乗り移り黄泉帰る。

宇良上月乃（うらうえ つきの）

■姉の日向とは正反対なことを自覚し、そんな姉に憧憬を抱く。オカルト好きのため、今回の事件が……。

死んだ姉が妹の身体に……!?

日向と月乃という姉妹がいた。全てに優れた姉の日向を妹の月乃は大好きだった。そんな姉が交通事故で他界してしまう。

何か抜け落ちたような月乃を見かねたオカルト研究会の友達、リサがウィジャボードで日向を呼び出そうと持ちかけるも失敗に終わった。

しかし失敗に終わったと思われた召喚は、思いもよらぬ方向に発展する。なんと翌日、姉の日向が学校に現れたのだ！

日向は、自分が月乃に乗り移り、そのせいで月乃が消えてしまったというのだが……。

自分に起こったことに戸惑う日向。それは周囲をも巻き込み……。

目次

初出/チャンピオンRED2017年3月号~8月号

第二十二節❖新月

ざわ
ざわ
ざわ

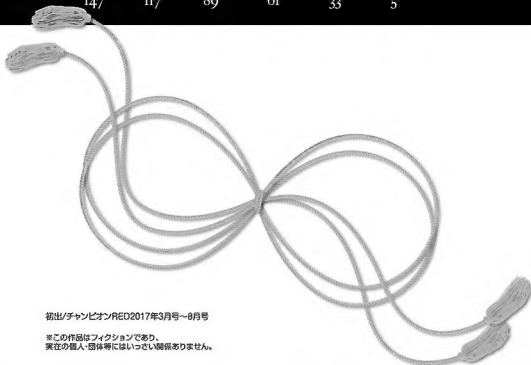
えっ 今のダレ
めっちゃ可愛いんだけど
A組の宇良上月乃だってよ
だからそれ誰だよ
ざわ
元は超目立たねー地味子
それが今日突然祭あぁなって
すげー話題になってる
でええ!? マジでか
ざわ

ちょっと前に事故で死んじゃった3年生の妹らしいよ
ざわ
あの格好は その
お姉さんを真似たんじゃないか って……
ざわ

ゴーン…
キーン…
私…突然この身体で意識が戻って
とにかく誰かに助けを求めなきゃ…信じて貰わなきゃーって
ただ…それだけを考えて私の姿で学校に来ちゃったけど

方法ー……間違えちゃったかな…

リサちゃんにも迷惑かけちゃって……
そ
そんなことない！
…ですよ

だってもし月乃がいつも通りの姿で
同じ話をしてきたら――
きっと私〝月乃の悪ふざけかー〟としか思わない……
じっ
お姉ちゃんなんでーす
…。
……だけど

事実こうして目の前に
ここまで完璧なお姉さん
として現れたら——
信じざるを得ない
……ですもん
……ありがとう
…私ね　ホント言うと
この世界で　また
過ごせることが嬉しい…
あの日の事故も…
全部ただの悪い夢
だったんだーって　思いたい
…でも　やっぱり
私はここに居ちゃ
ダメなの
この身体は
月乃のものであって
日向じゃない——
だって

私は・・・もう・・・

死んだんだもの・・・・・・・・・

だから――この身体は一刻も早く月乃に返さなきゃ……

お姉…さん……

あんた……日向の妹の『月乃』よね
……！
あ…っ
どういうつもり？
・・・・・・・日向の真似事なんかして
あの子の妹にこんなこと…言いたくないけどさ
みんな…日向が死んじゃって——
悲しんでんだよ!?それなのに……っ
あわっ
あわ
…あっ…あのですね!!私 オカ研やってて……
全部私のせいなんです！
私が降霊術でお姉さん呼ぼうなんて言ったから——
…は 霊？
……まさか 日向がその子に取り憑いたーとでも…言うわけ？
えっと
そ そういうことに……

…ふざけないで!!!
こっちは真剣に話してんだよ!!
ようやくみんな気持ちの整理がつきそうだったのにこんな……
こんなっ!!
おねがいだから…もう…やめてよ…っ

…ねえ
あの子にも…
教えてあげないと
ほら　日向の…
あ…あたし
連絡先知ってる
…もう
ほっときなよ…
だって!!　妹のあんな姿見たら
絶対信じちゃうよ…
あそこまで瓜二つだなんて
騙されないで…って
予め伝えておかないと

どー…
しよう…
わた…し
大切な友達
泣かせて……
なんて…取り返しの
つかないこと…っ
…だ…っ
大丈夫…
お姉さんの行動は
——間違ってなんか
ないです!!
…多分

みっ みんなにお姉さんのこと
信じて貰うなんて
到底ムリでしょうけど――
私は信じる…
…うん！
オカ研の名において
絶対信じますから!!!
リサ…
ちゃ…ん
だから――二人で
探しましょう
月乃を…
取り戻す方法!!

……
……
…日向さん
お帰りください
日向さん
お帰りください……
……
…どう…です？
ドキ
ドキ
…リサちゃん
やっぱりダメー
…みたい
ぬぁーやっぱ
ダメかー!!
お姉さんが帰れないのは あの時
儀式をちゃんと終わらせなかったせい
だと思ったんですけどねぇ……
いや そもそも帰し方が
これで合ってるのか
どうかも……
……

分からない……
どーしたら月乃に身体を返せるの…？

どうしたら…っ

え…？

その 儀式を始めた元凶である私が言うのもなんですけど

死んじゃったはずのお姉さんが今こうして存在すること自体はものすごい奇跡 っていうか…

神さまがくれた――何かの「チャンス」なんじゃないかって…思ったりもするんです

――も もしかしたらお姉さんは…

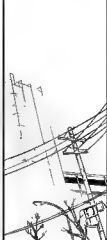
なにか「心残り」があるのかも……

月乃なら…少し身体を貸すくらいきっと許してくれますよ

お姉さんのことホントに大好きだったみたいなんで

私の…〝心残り〟……

私……
普通に過ごしていーの？
日向として・・・
死んじゃう前…みたい に
……ひな
〝ひなた〟
…ダメッ!!!
キーーーン
ごごめん驚かせて…
だけどダメ…
やっぱり――絶対はやくんにだけは知られちゃダメ!!
え…っとはやくんて…
あ あの時部屋に遊びに来てたお姉さんの彼氏――
私っ……帰る!!
えっお姉さん!?

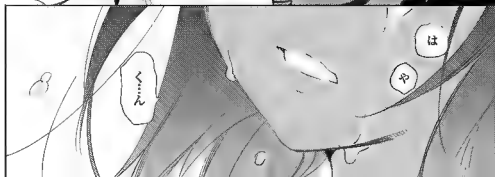
やっぱり私は
表に出るべきじゃ
なかったんだ……

彼が別の学校で
よかった――
もし会って
しまったら
私は一番大切な人を
また ひどく――
悲しませることになる

だって あの日
私が 死んだのは――

はやくんと別れた
帰り道なんだ
彼のせいでも
なんでもないのに
きっとひどく…苦しんだよね
コツン
……でも
…それだけ
じゃない
私は今…
そんな辛い思い出を
また掘り返すなんて
――したくない!!
今もしも彼と
再会してしまったら
――……

ひな…た？
さ さっき
日向の友達から…
へんな連絡 あって
そ そんなこと
あるわけねーって
思って…
っけど
…
なんか 只事じゃない
カンジだったから…
い 居ても立っても
いられなくて――
ち
ちが…います
私…あっ
あたし は
妹の…月乃
ですから…
つ…月乃ちゃんなら――
こっち向いてよ

は
や
く…ん

ひなた…!!
──ああ……
だから私たち──
絶対に会ってはいけなかったのに……
なんで…信じちゃうの
普通あり得ないってバカにするでしょ？こんな──
宇良上
妹に…死んだ私が乗り移っちゃった…だなんて
荒唐無稽な話…
どーしてよりによって
はやくんが…信じちゃうのよぉ…っ

・・・・・・・ あり得ないことで
俺が家族を失った
こと――
日向なら
知ってるだろ・・・・？
あん時 俺の話
バカにしないで
親身になって話を
聞いてくれたのは・・・
俺を救ってくれたのは
日向だけ
だったんだ
だから今度は――
俺が日向を信じて
救う番なんだ・・・
・・・・・あっ・・・

だめ…
この身体は私のじゃない…
月乃なのっ
あの子の大切な身体で勝手に こんなことしたら…っ
おおねが…い やめてあげて…
はやくんだってきっ気味悪い…でしょ…
とっくに死んだ人間なんかとこんなこと…っ
ひなた…それ…本気で言ってる？

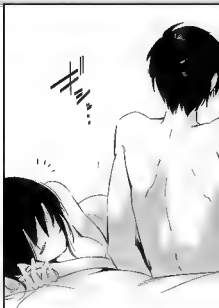
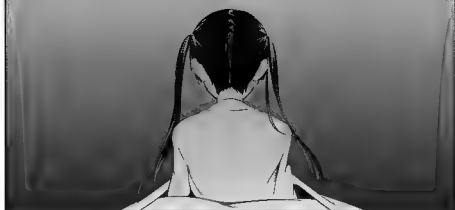
んっ！
くう!!
あっ
ならなんでこんなになってんの
うぁ…っや
あ…！
ちが ちがう…私は――
日向だってぜんぜん我慢できてないよ…
我慢…できるわけないじゃんか
…こんな奇跡 みたいなことが実際…起きて――
それは…っ
んっ
……
――…っ

あ…っ❤
ひなたっ…
はや…ッくん
ああっ…
月乃ごめん…
ごめんなさいっ
ごめんなさいっっ
ごめ…ッ

痛た…っぁ…!
…信じられねえな
おい蛇
幽霊だの乗り移るだの…
そんなこと実際に
あり得るのか?
動く死体の
そなたが言うか?

…まあ…
ことの真偽など妾にとってはどうでもよい
声が聞こえたのならば妾は呪いを授けるまでだ
…もっとも――どちらの声かは知らんがの
兎に角今しばらくは様子を見ておれ
そもそも『幽霊』だって名乗る奴がわざわざ誰を呪おうってんだか…
まるで怨霊だな
呪いの使い道はなにも憎しみだけではない…
重要なのは『消したい対象』と『望む意思』――
呪いを利用し教師を虜にした鳥羽渚しかり
かつてそなたと怨を結びたがった乙梨叶しかり
そして あやつも――

俺…そろそろ
帰るよ

ギシッ…
母さんが帰るまで
姉貴の面倒
見なきゃなんないし
お姉さんの…？

……また
会えるよね？
――……
…それは……
ぎゅ…
また…
勝手に消えたり
しないでよ
俺怖いんだ
なんで俺の
周りでばっかり
こんなこと…って
あの時も
日向の事故の
時だって――

大切な人が
いきなり消えるのは
もう嫌だ……

ごめんね 月乃…

こんなこと知ったら――
許して くれないよね…

…本当は　まだ
死にたくなんて…
なかった
それなのに
また…死んで
はやくんと——
離れるなんて…
イヤだよ…

第二十三節❖満陽

月乃

今日…担任の先生から連絡があったの

だけど私にも…あんたの考えてることが分かんないんだよ
……話して…くれるかい…？
……そっか
コト…

……お母さんごめんね
私——

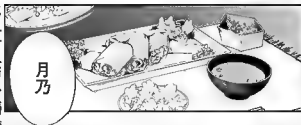
いま——私

日向なの

第二十三節❖満陽

おねーさん！
ごめんね……昨日はいきなり帰っちゃって
いえいいですよそんなの！
それに私も……無神経なこと言っちゃってすみませんでした
お姉さんは早く月乃に戻ってきて欲しいってってたのに
う……ん
そのこと——なんだけど……ね
ところで見てくださいコレ！

成仏・除霊 諸々の
グッズをかき集めて
みたんですよ！

私のつたない
オカルト知識が少しでも
お役に立てばいいんですけど

除霊――……

そっか
私

お祓い…される
立場なんだ

キーーン

コーーン

もともと
私だって

好きでこうなった
わけじゃないのに――…

カーン

いやぁさっきは
没収されなくて
幸いでしたよー

ざわ

やっぱり！近くで見るとますます違うよ

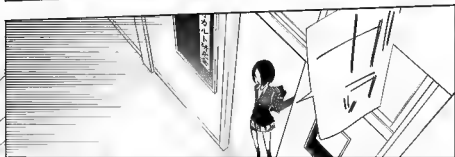
宇良上さんすごい変わったよねー

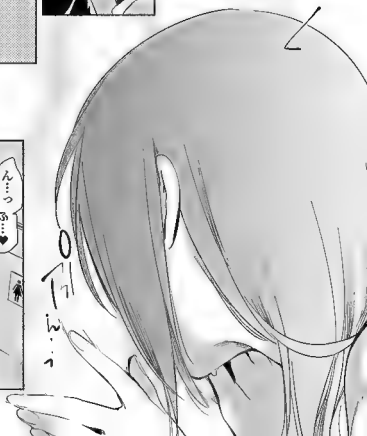
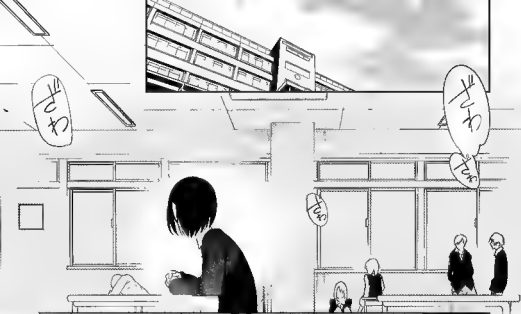
見た目もそうだけどなんか雰囲気？親しみ易くなったっていうかー

ざわ

ねね メイクとかどーやってんのー？

めっちゃナチュラルー

ざわ
ざわ
ざわ
おっかしいなぁ……
放課後なのに
オカ研にも来ないで
お姉さん……
どこ
行っちゃったん
だろ……
あ
昼間の
子達……
あ
あのー
お姉さ…じゃない
月乃…知りませんか？
え
宇良上さん？

あたしらも
放課後誘ったん
だけどさー
なんか
〝先約あるから〟って
ついさっき帰っちゃったよ
せ
先約って……
だっ誰と？
さあ？
あなたのことかと
思ってた
し
……
…なんだったん
だろ？
さあ…
お姉さん――
月乃を
取り戻そうって
約束したのに
それにあの姿で
私以外の誰と
約束なんて……
!!

え……
彼には絶対知られちゃダメ って
ダメ…
はやくんにだけは
知られちゃダメ!!
対
お姉さん自身が言ってたはずなのに
なんで――
……？
トイレ？
……あ
くす
くす
くす
多目的
ふふ…っ
やだ
くす
はやくん
これ――
どうしちゃったの？

ほんとは
お外で
こんなにしちゃ
いけないいんだよ…？
それは
ひなた…が
手ー繋ぎながら
くすぐったり
するからじゃん…
…ふふー
バレた？
しょうがないなー
はやくんは…♥

んっ…
ぴちゃ
ん…♥
ちろ…
ちろろっ♥
んっ…
ん…っ ふ…♥
多目的
はぁっ …ん…♥

んっ
ん
ふ
んむ
んっ・ふ・
ひっ
ひな
ひなった
もう
止めないと
んっ？
いふぃ…っよ❤
ふーっ
ほのままっ…
…ひて
ふっ❤
ん！
んっ
んんッ…
…!!!

ん…♥
ひな ごめん！ 制服に――
んーん？ はやくんのだもん 気にしないよー
いや 気にしようよ… そこで洗おう
えーっ

ざわ
ざわ
ざわ
ざわ
イラ…
…お姉さん
今日も
明らかに
私を避けてる……
私が…お姉さんを
成仏させようと
したから？
…けど
それも
最初はお姉さんが
望んでたことなのに
……『リサ』

…うっ!!

このまま
お姉さんが
月乃を
乗っ取って
しまったら

月乃が……
友達が

私のせいで
いなくなっちゃう…?

なんとか…
なんとか
しないと……
……
相談を
で悩まないで
フリーダイヤル XXX-XXXX
相談フォーム
http://XX
そう…だん…
…あっ
あっ

私――
…っ
――〜〜〜ッ…!!
ひどく
自分勝手なこと
してるって
……分かってる…
……はぁっ
あっ
あっ…
だけど
…っはや
くん…
…私
きっと――
こうするために
黄泉帰ったんだと思う…
ひな…
はやくんが いつまでも
悲しんで……
私を忘れて
くれないから
だからこうして
戻ってきちゃったん
だからあっ…

……ごめん
ひなの…言う通り
かもしんないな

三か月──一度も
忘れたことなかった…

でも

帰ってきてくれて
……ありがとう

ッ…!?
……
いま誰か…が
気の…せい？
……ううん 見られてるなんて あるわけ…ない
家には誰も居ないのに
…ひな…
あ ごめんね 起こしちゃっ…

ひな…た
置いてかないで……
ギュ…
…………
…私も
でも私は…いつ
消えてしまうとも
分からないから…っ
ギュ…
できることなら——ずっと
一緒に居て…あげたいよ…？
…こんな
はやくんを一人残して

また勝手に
さよならなんて
できない
したくない……
いつか…
私が
………
月乃の中から
消えちゃう時――

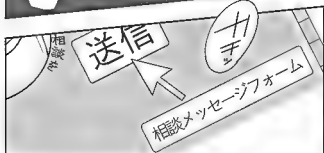
……はやくんを一緒に

連れてってあげられたら

いいのに……

〃呪いは怨みだけじゃねえ〃
――か
……それがお前の『呪う理由』なんだな
のろ…う？

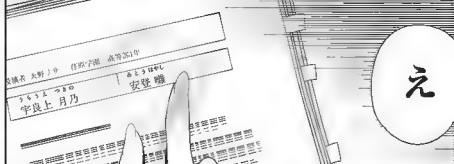
……信じて貰えない かも
しれない けど……
お願いです……

カチッ
送信
相談メッセージフォーム
相談を

佐々くん
何かめぼしい情報はあった?
櫻先輩!
いやー 学生相談に網を張って 縁結びに関係ありそうなものをピックアップしてはみたものの
ウィジャボ…って なんですかね? これ
ウィジャボード?
簡単に言えば 西洋版こっくりさん みたいなものね
うえぇ…やっぱ オカルトですか
やだなぁ~…
それで 詳細は?
え~……『姉を亡くした友達と 降霊術をしたら』
『その子に死んだ お姉さんが憑依して しまいました』

『お姉さんは友達の身体で生前付き合っていた男の子と関係を持っています』
『こんなこと誰も信じてくれないと思うけど』
『私の友達を助けて欲しいんです』……
……いやいや さすがに荒唐無稽すぎやしません？
こんなのマトモに対応してたらキリないっすね
パッと見 怨結びとも関係なさそうだし もう一度 他のを洗って——
…待って！
これ……当事者の学校名と名前が書かれてる
え!? あく
じ じゃあタチの悪い嫌がらせっすかね!?
女子同士のいざこざとか…
そっちじゃなくて男子の名前見て!!
男子……？

あれ？

この名字…って

第二十四節❖穴
思えば俺は
日向と付き合い始める以前から漠然とした不安を抱えてた
The Frogs
宇良上さん
ちょっとトイレ寄っていい？
いいよ
じゃあここで待ってるねー
あれ……
宇良上…さん？
……宇良上さん……
宇良上さん!?
Restrooms
安登くん！

はい！
安登くん
こーゆうの
好きだったよね❤
……
どこ…
行ってたの…？
電話も出ないし
Restroom
向こうの催事場で
物産展やってたのー
で
変わった味で
面白そうだから
買って来ちゃった！
でも いざ並んでみたら
想像以上に時間
かかっちゃって……
なんだかんだ
待たせちゃって
ごめんね
……
それは…
嬉しい けど
…急に居なく
なんないで
ほんと
ダメなんだよ…

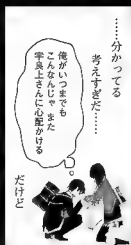
……あっ

……ごめん…なさい

そうだったね
あたし…何も
考えないで…

……

別に…なんでも
姉貴のことに
結びつけるわけじゃ
無いけど

安登…
くん…？

そしてあの日──

第二十四節❖穴
日向は　本当に
この世界から
居なくなってしまった

だめ……
この身体は私のじゃない……
ひな……
月乃なのっ
目の前の女の子は
紛れもなく日向そのものなのに
今離したらまた——…
はやくんだってでしょ……
き 気味悪い…

とっくに死んだ人間なんかと
こんなこと…っ
違う……
身体(からだ)は違ってても
――中に日向が居る

魄だけでも
戻ってきてくれた
日向がいるなら
どんな手段を
使ってでも
繋ぎ止めてみせる……
今度こそ
どこにも行かせない
――
……戻らなかった
姉ちゃんと
同じ結末なんて――
絶対に
いやだ!!!

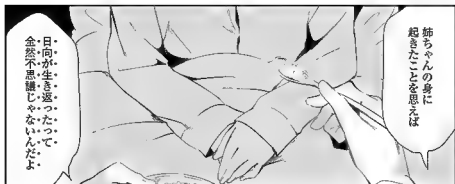
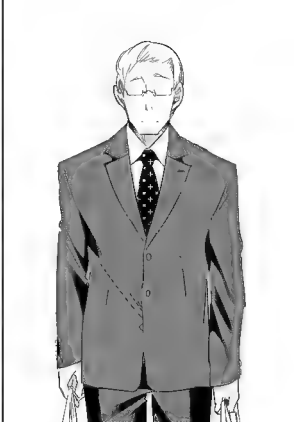
――以前の姉ちゃんなら こんな話
『人間として最低だ！』とか言って……怒るんだろーな
……自分でも分かってるよ
身体は彼女の妹なのに
……でも多少非現実的だからなんだっていうんだ
姉ちゃんの身に起きたことを思えば
日向が生き返ったって全然不思議じゃないんだよ

………
ガチャン
囃(はやし)
ただいま
どうだ？
お姉ちゃんの様子は

……べつに
いつも通り
なんの反応もないよ
そんなに心配なら
父さんが世話してやれば
いいじゃないか

………

ザッ
……ごめん

のろ…い？
この人――
左腕がない……

マンションの人……？ 違う
お前 宇良上月乃…だな？
自動ドアが開いた音もしなかった
じゃあ
どこから——
……あっ
おい!?

死んでる私が
ここに──居るから
私を連れ戻しに
きたんだ…!!
……呪い人に
逃げられた……?
………
それは
それは
また…

あっははは!!
傑作だのお!?
顔…カオ見て逃げられ…っ
ひー ひーっ
ウケすぎだろ
しかし櫻の時といい……
目を合わせただけで呪い人を怯えさせるその仏頂面
いい加減なんとかしたらどうなのだ？
櫻って……お前まさか呪い人のこと
最初の一人から──全員覚えてんのか
……当然であろ

妾に出来ることは
呪い人の望むままに
呪いを授け
また そなたの見届けた
彼らの顛末を
記憶に留めておくことだ
特に櫻は
先日再会した
ばかりだしの
は？
……おい
聞いてねえぞ
俺抜きで
どうやって——
いや
……お前
まさかあの時…
ん…ああ
話して
なかったかの
そうだ
例の子供に囚われた
そなたの身体を
借りたときに少しな
……
……くくっ
成る程……
何がだ
いや…奇遇にも
よく似ておると
思ってな

そなたの身体を借りた妾と
『妹の身体に降りたという姉』が……な
言っとくけど俺は二度とご免だからな
つか結局 櫻とは会って何話したん……

クビツリと妾の間には
赤縄という
いわば揺るがぬ縁がある
しかし あの姉妹には――
……果たしてどのようなエンがあって
『取り憑く』羽目になったのであろうな…？

は…❤っぁ…
……ひな…
…どうかした？
………
ん……

やっぱり

私の部屋で……

はやくんと
「してる」時
強く感じる――気配

まさか――あの…
…黒ずくめの人が……？

――いや…‼

はやくんを残して
逝きたくない‼

私はまだ――…

ギィッ…

気のせい……？
でも今
確かに月乃の部屋から光が――

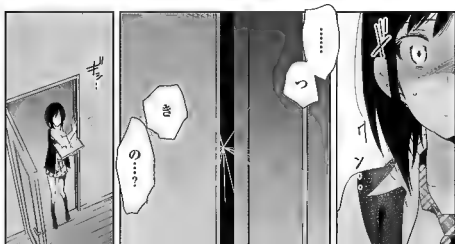
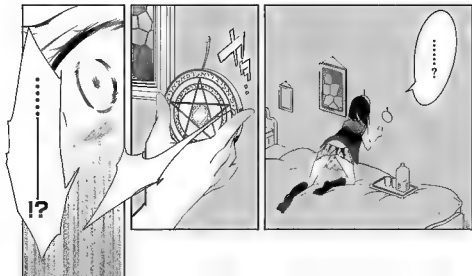
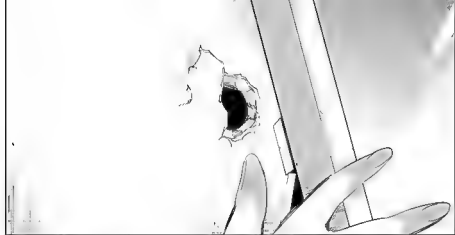
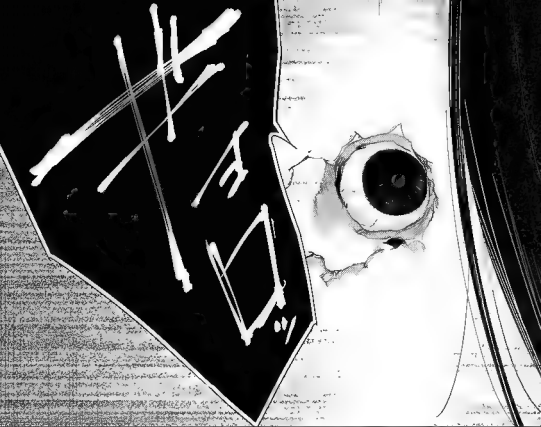
……？
……――!?

わっ
びっ…くりした—……
……ひな？

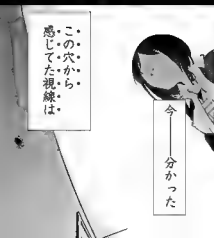
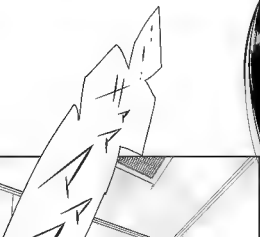
嘘…でしょ？
何…この 穴……

これは……
自然に空いた――
…ってわけじゃ
なさそうだな
なんだって
こんなもの……
建築段階で
何かあったのかな
この…位置
丁度…ベッドの
正面――……
ゴクッ
まるで――

覗(のぞ)・・・
ひッ!!
ひな!?

ギョロッ

月乃なら
ちょっと身体を
貸すくらい
許してくれますよ

待っ…て
声…
月乃に聞こえちゃ…ッあ!!
あっあっあっ だッめ えっ
ぇぇ…ッ❤
——…ッ

悪意だ

第二十五節❖天啓
昨日の小テスト
返すぞー
相田ー
井乃村ー
宇良上ー
宇良上ー？
宇良上月乃…は
なんだ…
また早退か？
ガァアァア

第二十五節❖天啓

月乃は
私を…憎んでた
それもきっと――
私が生きている頃から
「あの穴」から
悪意の視線を
向けられてたんだ
サァァァァ
ピクッ
……んっ……

……それが分かってても 私
彼と身体を重ねてるときが 一番
『生きてる』って 実感 できる…
だってこれは
死んでる
私とは正反対の……
命を繋ぐ
行為 だもの……
ンッ
!?
ッいた…!
…さの…
月乃……

月乃もメイクしてみない？
ちょっとだけでもいいからさ大分印象変わるよ
……え
いらないよ
あたしはそういうの興味ないし
そう・・・？

…だって それじゃ意味がない……

あ・た・し・は・
大・好・き・な・
お・姉・ち・ゃ・ん・に・
な・れ・な・い・

シャァァ
今…のは
………

…あは……
ややだ──私
疲れてる…のかなぁ……

例の穴のこと──
気にしすぎてるのかも…
だからきっとへんな妄想しちゃうんだ……

だってありえない
お洒落に興味のなかった月乃があんなことする理由がない

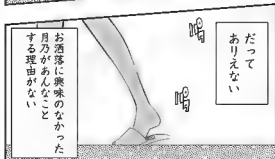
はやくんお待たせ

シャワー空いた──

……
うるさいな!!

ちょっと遅くなっただけじゃんか

……報告？

なんでいちいち父さんに居場所教えなきゃなんないんだよ!!

姉貴はもう
治らない…
一時期ちょっと
良くなったかと思えば
また元通りだ!!
父さんもいい加減
分かってんだろ?
もう
まつり姉ちゃんは
居ないんだよ…!!!

はやくんの
電話の相手――
お父さん？
……だよね
仲――……
悪いのかな
〝ちょっと
遅くなった
だけじゃんか〟
………

はやくんは
最近ずっと
私に合わせて…
付き合ってくれてる
部活も辞めて
私との時間を
何より――優先
してくれてる……

どんなに「月乃」で
身体を重ねても――
それって……本当に
はやくんのために
なってるの？
癒すどころか　はやくんは
死んだ日向のこと
ますます忘れられなくなって
結局…
苦しめちゃってるん
じゃないの…？
…やっぱり――
自分勝手だ…私
目的間違えちゃ
ダメだよ……
私…
はやくんを
救いたくて…
そのために私…
……
ザッ

お…おう

…!!
こ…この間は！

その……驚かせて悪かった
俺はいわゆるただの仲介役で……少し 話を聞きたいだけなんだ
お前の——「願い」について…な
笑顔・できてるか…？

私の——
願い……？
……ようやく
見えたの

妾は『蛇』
怨を結びて縁を切り――
呪い人の願いを
叶える者なり
そなたの声はかねてより届いておる……
呪いたい者が居るのだろ？
――ち
違う!!
わ…私 はやくんを
怨んだりなんて
してない!! 私は…っ
私……
はじめは
再会できて
ただ嬉しくて

でも――
このままでいいのか
…分からなくなってきて……
――ただ…
彼をこれ以上
悲しませたくなくて
また私が突然
消えてしまったら――
…今度こそ彼の心が
壊れてしまう
…気がして……
だから『消して』
しまおう と
考えた……
……え…？
……なに
珍しいケース
でもあるまい
『呪い』といっても
目的は怨み辛み
ばかりではない
愛しい者を救うため――
あるいは
手に入れるため
ヒトは望む
呪いとは
毒にも薬にも
成り得る
全ては使う者
次第なのだ

お…おい
お前――……
また…死んで
『はやくんと離れるなんてイヤだよ…』
『ひなた…』
『置いてかないで…』

『…はやくんを』
『一緒に』
『連れてってあげられたら――…』
……ああ

これが――
これこそが
私たち二人の望みを叶える
唯一の 答え……

『消して』しまえばいいんだ――…

……あいつ なんか…誤解してないか？
とても人を呪おうって人間の表情じゃなかったぞ

……天啓を得た……
とでも
思ったのであろ
?
まあ…確かに お前を神でも崇めるかのようなツラしてたけど
神だ
なんにせよ あやつは迷いを払拭してくれる言葉を望んでいたのであろうが――
……
なんだよ 歯切れ悪ぃな
何か気になることでもあんのか?
…クビツリ

そなた呪い人の『対象』を見たか
あ？
…まあ
あいつの交際相手がどうかしたのか？
面影が似ている——と…思わぬか
面影？
誰…と——
810
安登まつり様

似…てる
どこじゃねえ!!
俺は…あいつを
安登まつりの病室で
何度か見かけた――
…じゃあ

今回の標的は
まさか…ッ

……

なんとも
…皮肉な…
巡り合わせだの

〃もう　姉貴は
いないんだよ…‼〃
……嘘
そんなことは
ないよ……
お姉ちゃんは
ここに居る——
ぎゅっ
そしていつか
父さんが必ず
元に戻してやる
そうだろう？
まつり

……あんたは
僕の
パパじゃ ない…
…今は分からなく なっているだけだ
ああいけない そろそろ 寝る時間だね
もう「前みたいに」 部屋を抜け出すんじゃ ないよ
……いいね？
ガチャ
〝肉を纏ったまがい物〟
〝他人の〟

僕はッ
まがいものなんかじゃない…!!
僕が『名無し(ナナ)』になったのは!!
みんなお前のせいだ!!
蛇(くちなわ)アッ!!!

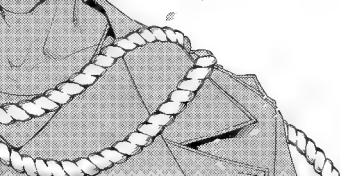
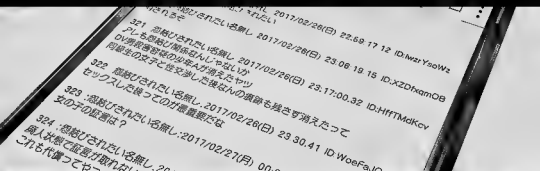
…安登!!

……なのか?
はーっ
はーっ
お前のっ…
名前
……?
そう…ですけど
あなたは——
もう宇良上月乃の所には行くな

この 問題は…

お前が過去に囚われず
前に進めさえすりゃ
解決するんだ…

…でないと

お前が大事にしてる
『彼女』に お前の——

赤い…縄
“怨結び って知ってる?”
左腕の――
ない男…
“誰かを『消したい』って強く願うと 首に赤い縄、左腕のない男がやってきて”
321 怨結びされたい名無し 2017/02/26(日) 23:06:19.15 ID:XZDfxqmOB
アレも怨結び関係なんじゃないか
DV男殺害容疑の少年Aが消えたヤツ
同級生の女子と性交渉した後なんの痕跡も残さず消えたって
322 怨結びされたい名無し 2017/02/26(日) 23:17:00.32 ID:HffTMdKcv
セックスした後ってのが最重要だな
323 :怨結びされたい名無し:2017/02/26(日) 23:30.41 ID:WoeFaJO
女の子の証言は？
“呪いを授ける神さまの元に連れて行かれるんだって――”
……ああ そうか
あんた――
あんたが 俺の姉ちゃんを

まつり姉ちゃんをあんな風にしたのか

第二十六節❖姉二人

"現職警察官の娘"事件に関係か"

君 君!
この家の息子さん?
ちょっとお話いいかな

お姉さんが義父殺害の容疑者
少年Aが失踪する直前に
会ってた件だけど——

あっ

姉ちゃ…姉貴
具合どう?

最近冷えて
きたから——

……姉貴?

……う…

はー
……姉ちゃん?
まつり姉ちゃん!!
希ケ池大学病院

──お腹のお子さんのことは残念でした……
まつりさんも一時は危険な状態でしたが
今は大分落ち着いて話ができるほど安定しています
ただ──その…
……外見の変化に驚かれないでくださいね
我々にも原因はさっぱりでして──
ま まつり…
…なのか？
ねえ……ちゃ…

第二十六節❖姉二人

――やあ…『ひサシぶり』……
…ボクにとっては『はじメまして』かな…
ああ……そうか
あんたが……俺の姉ちゃんを

あんな風にしたのか…っ

“何故…千石揺に呪いを使った――…？”
――…そうだ
ガッ
ガ
ギュ

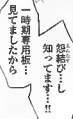
カランカラン

……正直…あんな相談内容
誰も…相手にしてくれないと思ってました

そ それがまさか…

刑事さんが訪ねてくるなんて――
思いもしませんでした……

私は少年事件を扱う課の中でもちょっと特殊な――
『怨結び』っていう都市伝説にまつわる事件を追ってるの

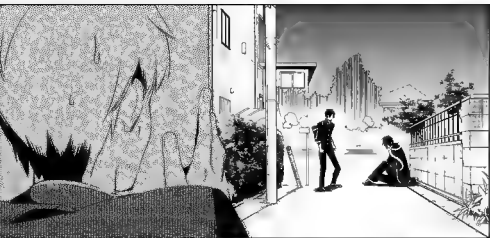
怨結び…し知ってます…!!
一時期専用板…見てましたから
でもそれで実際に警察が動いてたなんて――

公にはしてないけど……
もう――警察も無視できない範疇ってことなのよね
……ところで
ことの発端はウィジャボード――降霊術が原因だと言ってたけど
あなたはどうしてオカルトや…呪術に興味を？
わ 私はただ単に怖い話とか不思議な話が好きなだけで……
でも月乃は――
あ…いえ たぶん気のせい…だと思うんですけど…
いいよ 気になることがあるなら何でも言ってみて
……月乃の部屋に遊びに行った時――
見たことあるんです
その時はほとんど隠されてて
ちらっとしか見えなかったけど――…

月乃は私よりさっぱりした性格でホント…いい奴なんで

純粋にただの収集癖だったと思うんですけど…

ふと考えたこと…あるんです

もし……もしもあれを『使うため』に集めてたんだとしたら——

呪術……ね
…今の所
『怨結び』に結びつきそうな
手がかりではないけれど…
でも――
呪術系グッズの
収集――…か
リサちゃんの言う
『お姉さんが乗り移る前』の
月乃ちゃんにも
――何か…
ありそうな気が
するのよね……
今日は
お話ししてくれて
ありがとう
後日――
月乃ちゃんにも会って
みようと思う
何か分かったら
連絡するね
いえ 私こそ……
聞いてくれて
ありがとう…ございました
そういえば――
佐々くんの方は
どうなったかな？
嘣くんとうまく
接触できたかしら――

……やめた
人 殴るなんて初めてで
拳…超痛いし
なんか こっちが悪いみたいな気分になってきたし……
…………
せっ…
接触どころじゃないっすよ先輩……
あっあっあの…縄男が!!!
なんで殴られてんだあいつ!?

……あんたは
どういうわけだか俺を心配してるみたいだけど
もし姉貴をあんな風にした罪悪感とかなら
頼むからもう俺たちに関わんないでよ

ど…っ
どっちが
優先だ!?
当初の目的は
安登警部の息子さんの
警護だけど──
いや
でっでも今
目の前には『怨結び』の
最重要参考人が──!!

な
なっ

ドーーン

ななな縄男ォ!!

おまえを怨結び教唆の疑いでタイホするッ

ああ……
少年事件８課
宇良上日向さんなら何度か家へ遊びに来てくれたよ
そう……でしたか
とても礼儀の正しい良い子だった…
訃報を聞いた時は本当に――
すみません失礼します…
佐々くん？
連絡つかないからどうしたかと――
ふっ…ふふふ先輩…やりましたよ僕ぁ…
？
…なに？

なんと『クビツリ』を確保したんですよ！
ちゃんと逃げられないよう僕と繋がってますからご安心くださいっ
おい、
なんてどいつもこいつも手錠なんだよ…
え
…クビツリさん!?
どういうこと— …噛くんの警護は!?
何故彼の近くにクビツリさんが居たの！

ハッ
…そっ そうだ!
こいつが警部の息子さんと話してて…
ヤバイですよ!!
この案件――怨結びが絡んでます!
だからさっきから何度もそう言ってんじゃねえか!
分かったらさっさとこの拘束を解きやがれ!!
ううるさいっ お前そう言って逃げるつもりだろ!?
――佐々くん! ちゃんと説明して!!
クビツリ…
怨結び――
あっハイ! えーとだから――

次のターゲットは安登嚨です!!!
安登…警部……

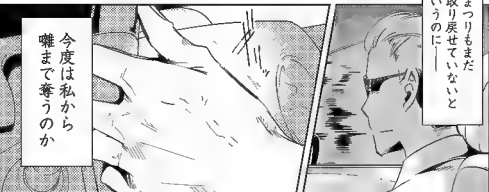
〝雌……〟
〝──父さんな
部署が変わったんだ〟

これから表向き
青少年の未解決事件を
追うことになるが──
実態は『怨結び』に
まつわる事件の
捜査と究明が仕事だ

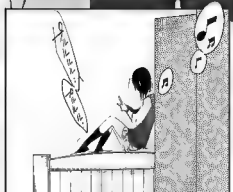
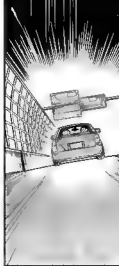
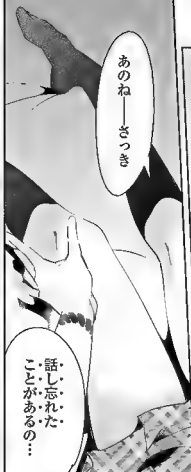
だから雌も
何か知っていることがあれば
教えてくれないか
もし呪いを解明できれば
まつりを元に戻す方法も
あるいは……
……は？
なんだよ
それ…

……じゃあ
姉貴は
あんな馬鹿げた
呪いのせいで別人に
なったって……
父さんまで
そんなこと
言うのかよ!!

ねえねえ！

なんの話
してうのー？
エンムスビの話なら
ぼくも聞きたい！
なんか思い出せる
かもしれないよ！
まつりもまだ
取り戻せていないと
いうのに――
今度は私から
囃まで奪うのか

させてたまるか!!

あ
はやくん……
ごめんね？
こんな時間に…
あのね——さっき
話し忘れたことがあるの…
——そう
とっても大事な話……
今からまた——
会いたいの…

〝——お前が…〟

〝お前が大事にしてる『彼女』に
お前の〟
〝姉貴と同じことをさせる羽目になるんだぞ……!!〟
……いや 行くよ
大丈夫
日向の家は──そろそろおばさん帰ってくるし……もうまずいだろ?
『希ヶ池公園』──
……そう
東屋みたいになってるベンチがあるとこ──
そこで会おうよ

――はやくん！
お待たせ…
ごめんね――
来てくれて
ありがと……

私は きっと
はやくんのことが
心配で……

一人残して……
還れない

ずうっと『成仏』
できないの……

だから

……

――だからね…

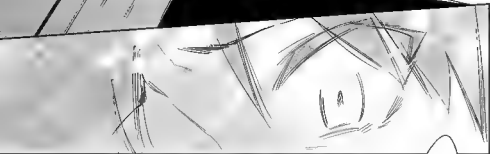
もし――
……はやくんが望むなら

私と…一緒に
連れてって
あげる——

第二十七節❖死者との怨結び

〝私と一緒に――〟

〝連れてって…あげる――…〟

はは……っ
あははは…
?
あ――…そっか

あいつの言った通り
……俺たちは

結局俺らは
そういう運命なのかなあ……っ

姉弟揃って『怨結び』なんだ…

……?
はやくんはこの呪いを…
…知ってたの?

……逆に聞くけどさ
なんで・・・分からねー・・・の？
死んだせいで——…そんなことも忘れちゃったの？
俺の…姉貴は『ある事件』に巻き込まれて……
〝怨結びで廃人になった〟だなんて根も葉もない噂たてられて
違う
怪しい奴が家に来たりイタズラしてった……
姉ちゃんは呪いなんて関係ない
さんざん——誹謗中傷されたよ
安登
俺が姉ちゃんの無実を証明してやる…!!
だけどそんな時——…
……あの！

宇良上日向……
さん…ですよね
あのっ俺…安登まつりの弟です…
姉の卒業アルバムを調べてたら…あなたがよく一緒に写ってたので その
良かったら姉のこと…聞かせてもらえませんか
……
……
…

………
……ね
また
会わない？
え……
私も…中学の友達に連絡して
まつりちゃんに変わったこと
なかったか聞いてみるよ
……なんか
それに——
キミを見てると…
放っとけないん
だよねー
——だけど
結局　姉貴の事件に
関わりそうな
証拠は見つからず
行き着いた先はやっぱり
『怨結び』という都市伝説で・
〝殺人を犯した
少年Aを救うため『呪い』を
使用したんじゃないか〟
それが
通説になっていた
この場所で…姉貴が
人を消したって……？

こんな…非科学的なものどうしろっていうんだよ…‼
安登くん……
調べればきっと原因はあるはずだ――
そしたら姉貴が元に戻る手がかりだって……
そう…信じてたのに――
……囃くん‼
……囃くんは
お姉ちゃんのために十分すぎるくらい頑張ったよ……

〝辛いこと一人で抱え込まないで…〟
〝大丈夫…私が傍にいるから——…〟
ひなは…こんな荒唐無稽な話も俺の弱さも
全部……受け入れてくれた

『私もこのことは誰にも話さない』
『心にしまって…二人の秘密にしよう——』
そう 約束 してくれて……
これが俺たちの出会いじゃんか

…知ら

ない…

なにも…
思い出せない
年も学校も違う
はやくんと
どうやって知り合って

いつ付き合い
始めたのか……

楽しいデートの
記憶はあるのに
どうしてそんな――
・・・・大切なことをなんにも
覚えてないの…？

あッ…!!
なに…
これ…!?

記憶……!?
違う!!
これは…私の記憶じゃない
私は月乃が私の部屋でこんなことしてたなんて知らない…!!
知るわけがない
──なのに

どうしてあるべき彼との思い出が私にはないの!?

――彼
雛くんていうの
月乃と同い年なんだよ
……初めまして
日向…さんとお付き合い
させていただいてます…
「ずるい」
……へー
この人が
なんか
…いいな
ちょっと内気そうだけど
顔立ちもカワイイし
優しそうだし
じゃあ私たち
部屋行くねー
うん ……あー
あとでお茶煎れて
持ってってあげよっか？

やっぱするんだ
そういうこと

あたしの隣の部屋で…
あの子とエッチなこと
しちゃうんだ

………

わかったっ
おかしとかも
いらないから ねっ
!?

……あー
わかりやす…

昨日 日記に書いてたもんね
“明日いよいよしちゃうかも”
“緊張するー”って

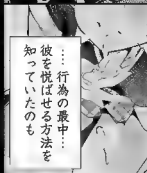
念入りに
準備までして

だからあたしも
この日のために
用意した

全部見てるよ

……隠した日記の場所が分かったのも

生前と寸分違わず同じメイクができたのも

彼との楽しい思い出や

……行為の最中……彼を悦ばせる方法を知っていたのも

「全て 見てたから――」

『心にしまって』

『二人だけの秘密にしよう って…』

私は…日向は

初めから

憑依なんて

してなかった

あたしは
月乃だ

ご…めんなさい
ごめんなさい
ごめんなさい!!
おねえちゃん
ごめんなさい
はやくん
ごめんなさい
違うんです
本気で死んでほしいなんて
思ってなかった
あんな事故が
本当に起きるなんて思わなかった
あたしはっ…
ぐっ

え!? 待って…
あたし……あたしは日向じゃない!!
お姉ちゃんは──…お姉ちゃんはッ!!
…初めから──帰ってなんかこなかった…!!
──全部あたしの勝手な……
お姉ちゃんになりたい……って憧れと嫉妬と思い込みで…っ
だからもうやめて…ください…
こんなあたしを見ないで…
赦して…騙して…ごめん…なさい……
…ごめん……
……ひな

──なに言ってるんだ？
日向は居なくなんてない
ずっと居る
え……
俺の中にもずっと
日向は居続けてる
月乃ちゃんの
中にも──
日向が
居るから
だから今
現にこうなってる
んだろ？
〝はやくん…〟
あの……
はや…くん？
何言って──
!
だめ…やだっ
呪い…が…!!
……俺も
月乃ちゃんも
…日向の存在が
でかすぎて──

もう 耐えられないんだ――

……頼むよ 俺を 消して――…

そしたら 俺も 全てを忘れた姉ちゃんみたいに

…きっと 楽に

結ん…じゃっ…た…
…止められなかった…
スゥ…
あたしは…どこまでクズなんだ…
どうしてあたしは
ザ
ザ
……
あ…れ？
え
はや…くん？
なんで──まだ 消えて……

誰…?

え
ななんで？
……あの 俺……
――ごっ
ごめんなさい!!

は…や
くん…?

ゴ―…

おいっ止めろ‼
──‼
もしかして
あれ…雛くん？
なんだよ縄男‼
──って…あれ？
うわっ
どういう…ことだ？
呪いは踏みとどまった
──のか…？
……いいや
呪いは確かに
成就した…
現に妾に呪いは
返っておらぬ
なら…
消えてないのは
どういうことだよ‼
おい
な 縄男
誰と会話 してるんだ
……確かに
消えたのだ

恐らく呪い人が
最も消したかった
男の中にあり続けた——
一人の
少女が……
少女…？
じゃあ あいつは…
宇良上月乃は——
どうなったんだ⁉
痛たたた‼
さっきから
引っ張るなと
何度言えば——
……
…おい？

なんで俺…
あの子と一緒に…？
それもあんな…
――……
噺!!
噺…!!
無事だったのか
バッ
父…さん？
おれ……
お俺…女の子に
酷いこと――しちゃった
かもしれない……
でもあんな子知らない
覚えてないんだ…!
女の子……
噺に呪いをかけようと
したという少女…か？
……分かった
父さんが見てくるから
噺は車で待ってなさい
だけど…こ公園に
一人で残してきちゃって――

——もしか…して

あたしが
消しちゃったのは

本当に
消したかったのは

え……
はやくんの中の──
〝だめ……!〟

ギ

――もしも あと一歩
踏み出していたら――
…命は
なかったかも
しれません

そのぐらい奇跡的ですよ
損傷は重要な器官を全て免れてます
ただ――…一番大きな裂傷ですが…
……
……月乃!!
おかーさん…
リサ……
もしかして…つき…の？
……ん

…なんか――色々
心配かけて
…ゴメンね……
そんなの
どうだって
いいよお…っ
わーっ
つきのぉ
〜〜〜…!!
おかーさん…
それ……
あんたの手術中
この子に…日向に
月乃を助けて って
ずっと…
祈ってたんだよ
この子ならきっと
あんたを助けてくれる
そう 思ったから……

……お姉ちゃん

もし…お姉ちゃんが
本当に幽霊になって…
この世に帰ってたらさ

はやくんが自分のために
ずっと悲しむ姿を見て
どう…思った？

彼がいつまでも
自分を忘れないで
いてくれて…

…嬉しかった…？

……ううん

本物のお姉ちゃんは——
あたしの演じてた
偽者なんかとは違う…

パリッ。

……きっと…
悲しん…だ
だろうね

あたしは一度お姉ちゃんになって
そんなお姉ちゃんだから――
〝だめ…！〟
お姉ちゃんの目線から――
……こんな最低な妹まで
…助けちゃうんだ……
どうしようもなく醜い月乃を知って…
改めてお姉ちゃんの優しさを思い知らされた
……
…この…傷ね もう――消えないいんだって…
だからもう… お姉ちゃんにはなれない……

……ううん
ならない
あたしは『月乃』として
この傷と一緒に 生きてくよ
だって
お姉ちゃんが 助けてくれた——
命 だから……

……これで君たちは満足なのかね

私の息子はどういうわけか無事だったが……

まだ若い女の子が大きな傷を負った

これが君たちの言う代償の一つかどうかは定かでないが――

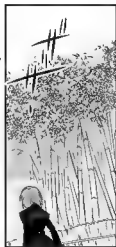
……

……さて

君にはこれからたくさん話して貰いたいことがある

人間でない君に法は通用しないが――

それはつまり
我々も

君に対しては
法に則る理由がないと
いうことだ

急に呼び立てて
すまぬな
前回はクビツリの
身体を借りて
いたからの……
改めて本来の姿で
そなたと話が
したかったのだ
く…ち
なわ…!

……そなたに
頼みたいことがある
『神さまの怨結び』第⑤巻／完

to be continued……

ここまでお付き合い頂きありがとうございます。守月です。

怨結びもついに5巻目を迎えました。
温かい応援 叱咤激励のコメントやお手紙 いつも有難く拝読しております。
おかげさまで今日も頑張れます。

それでは以下、ネタバレを含む今回の制作秘話など。

◆死者との怨結び

5巻を通してのテーマでもあるこのサブタイトルは
いわゆるダブルミーニングになってます。
死んだはずの姉が彼と契を結び、
妹が彼を通して死んだ姉と契を結ぶ。

結局のところどこまでが妹の意思で、
どこまで姉の遺志に踊らされて
いたのか‥といった部分は
曖昧になってます。

兄弟姉妹って
誰よりも身近で、
それでいて
とても遠い存在だと思うのですよね。
それ故の羨望であったり妬みであったり。
そういったキレイな部分・どろっとした部分の両方を
描けたら良いなと考え、今回のお話ができあがりました。

ちなみにラストは皮肉にも姉と同じ道を辿りかけた月乃が何者かの声を聞き、
一命を取り留めますがこのあたりは元々の構想になかった展開で、打ち合わせ中に
ふっと湧いて出た突発的な思いつきです。
こうやって勝手にキャラやストーリーが動いてくれる時は
作り手としても描いていて気持ち良いですね。

そして ついに再登場した1巻ヒロイン最後の一人，まつりちゃん。
何があってこうなってしまったのかは神社やクビツリの謎含め
これから明かされていくことになるかと思いますので
6巻もどうぞお楽しみに!!

守月
2017.6

◆Special Thanks(敬称略)
カエル紳士/ぴーぽ
蒼井ミハル/奈春
担当H野
◆守月史貴個人サイト『かみしきのアレ。』
http //kamishiki.net
Twitter Kamizuki_S1

自身の変化を感じ始めた神は、
己と現実世界とを
繋げる縁に想いを馳せ――
怨結びに関わった者たちは、
見えざる赤い糸に
絡め取られるかのように
寄り集まっていく――
怨と縁――

蛇と現実世界、クビツリを繋げる縁とは？
怨結びに関わった者たちとの新たな縁は、神にどんな影響をもたらすのか!?
神さまの怨結び 6
かみさまのえんむすび
乞うご期待!!

神さまの怨結び

電子特装版

神さまの怨結び 5

かみさまのえんむすび

限定特別画集

守月史貴

Champion RED Comics

日向

木影
妹ver
オカヨタ

KAMISAMA no ENNMUSUBI V

2017 SHIKI KAMIZUKI

神(かみ)さまの怨結(えんむす)び 5

2017年9月1日　初版発行

著　者　守(かみ)月(づき)史(し)貴(き)
©Siki Kamizuki 2017

発行者　沖　浩

発行所　株式会社 秋田書店
〒102-8101　東京都千代田区飯田橋2-10-8
☎編集(03)3265-1326　販売(03)3264-7248
製作(03)3265-7373
振替口座 00130-0-99353

印刷所　大日本印刷株式会社
Printed in Japan

ISBN978-4-253-23578-5

デジタル版　2017年発行
製作所　デジタルカタパルト株式会社
http://www.digital-catapult.com

神さまの怨結び
かみさまのえんむすび
5
守月史貴
KAMIZUKI SIKI
Champion RED Comics
RED